

今後の進め方

1. 全体の進め方（別添1）

- 「1. 設計条件及び評価判断基準」に当たる再処理施設及び廃棄物管理施設の入力地震動の策定を優先して説明。
- 上記と並行して、「2. 具体的な設備等の設計」（「2-1：システム設計、構造設計等」、「2-2：解析・評価等」）として整理すべき事項等の整理、具体的な構造設計等の説明を実施。MOX 燃料加工施設を例として、構造設計等として説明すべき内容等の説明方針、設備の構造等の類似性を踏まえた類型化及び代表による構造設計の説明等の整理を進め、再処理施設及び廃棄物管理施設へも展開。
- 「1. 設計条件及び評価判断基準」の入力地震動の策定に係る結果を踏まえ、設計用地震力（FRS等）、耐震計算等を行い、それらを「2-2：解析・評価等」の方針を踏まえた計算結果等の説明に当たる「3-2：評価判断基準等との照合」で引き渡し、説明を実施。（ここに至るまでの説明事項は、上記項目で対応）
- 共通12による「2. 具体的な設備等の設計」の整理結果を申請書の構成等を踏まえた00資料に反映し、申請書全体としての構成等の確認を行う。その後申請書への反映を実施。

2. 今後の審査会合での説明方針

- 1. を踏まえ至近での審査会合での説明の進め方としては、以下のとおり考えている。
 - 12月審査会合
 - ・ **1. 設計条件及び評価判断基準**：追加ボーリング調査データ取得状況、「敷地地盤の特徴をとらえた地盤構造」の見通し、「基本地盤モデル」の設定方針
 - ・ **2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）**：「再処理、廃棄物管理の説明グループ1」に係る構造設計等の対応状況、再処理、廃棄物管理の設計説明分類、説明グループの設定（説明グループの設定に係る説明すべき項目の整理及び説明グループ1に係る整理結果）、「**2-2：解析・評価等**」に係る具体的な設備等の設計（共通12）としての整理方針
 - その後（準備整い次第）の審査会合
 - ・地盤モデル設定に係る「追加調査結果」、「基本地盤モデル設定結果」、「設計への反映手順」
 - ・「再処理、廃棄物管理の説明グループ1」、「MOX 説明グループ2」等に係る構造設計等の説明

3. 各活動の実施状況及び当面の進め方

3.1 具体的な設備等の設計（共通12）に係る進め方

- 「2. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため「具体的な設備等の設計（共通12）」について、複数のタスクに関連性をもって進める。至近の対応が必要な事項の対応は以下のとおり。
- 「**2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）**」に係る検討を実施。
 - ◆ 再処理施設、廃棄物管理施設の設計説明分類・説明グループの設定
 - ✓ SAの要求事項の整理、DBの設計項目の整理等の結果を踏まえ、説明グループの設定に係る整理を行う。（考え方に基づいた整理結果（全条文）：12/12提出 12/13ヒア、共通12別添1：12/12提出 12/13ヒア）
 - ◆ 要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分け、DB/SAの共通事項の整理等（溢水、竜巻等）
 - ✓ 要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分けに係る整理をDBの要求事項を対象として「竜巻による損傷の防止に係る対応方針」、「溢水・化学薬品の漏えいによる損傷の防止に係る設計方針」、「再処理説明グループ1に係る対応方針」に係るタスクで実施（竜巻等：11/30

ヒアを踏まえた修正版の提出及びヒアリングの日程については別途設定）（溢水：11/30 ヒアを踏まえた修正版を 12/14 提出 12/20 ヒア））なお、溢水については、DB の設計項目における具体的な説明内容を構造設計等・評価で示す内容を整理して示す。（別添 2 で整理内容を示す。）

- ✓ 上記と並行して、SA の要求事項の整理（要求事項と DB 設計の関係整理）を「再処理説明グループ 1 に係る対応方針」に係るタスクで実施（11/17 ヒアを踏まえた修正版を 11/27 提出 11/29 ヒア）
- ✓ 上記 2 つの整理結果を踏まえ、DB/SA の紐づけ整理を実施。（DB 基本設計方針との紐付：12/12 提出 12/13 ヒア、SA の設計項目の整理、DB 設計項目との関係整理：12/8 提出 12/14 ヒア）

◆ 再処理説明グループ 1 に係る共通 1 2 の作成、説明

- ✓ MOX 説明グループ 1 に係る構造設計等の記載事項の整理実績を踏まえ、共通 1 2 本文・参考資料・作成ガイドに基づき、再処理説明グループ 1 に係る共通 1 2 を作成し、説明を行う。資料 3 の構造設計等の根拠等に関する個別補足説明資料は、資料 3 の構造設計等と併せて説明を行う。
（11/30 ヒアを踏まえた修正版の提出及びヒアリングの日程については別途設定）
- ✓ 再処理施設、廃棄物管理施設の構造設計等の説明における代表選定の考え方等に係る方針を整理し、説明を行う。その結果を上記 11/30 ヒアを踏まえた修正版にフィードバックする。（資料提出及びヒアリングの日程については別途設定）

● 「2. 具体的な設備等の設計（2-2：解析・評価等）」に係る整理

◆ 資料 4 における説明ロジックの整理（設工認 計算（評価）方針、計算書（評価書）との紐づけ等）

- ✓ 資料 4 における整理方針に係る説明を行う。（共通 12 本文、参考資料への反映及び MOX 説明グループ 1 の資料 4 への展開：12/7 提出 12/11 ヒア）

3. 2 耐震関係（入力地震動の策定）の進め方

「2. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため、以下の項目についての検討を進める。

● 追加ボーリング調査によるデータ採取 + 得られたデータの分析による「敷地地盤の特徴をとらえた地盤構造」の整理

- ✓ 次回会合説明資料案
 - ・資料案 追加調査データ反映 （岩盤物性、岩盤減衰） + 12/5 ヒア内容反映
⇒12/7 資料提出、12/8 ヒア
 - ・資料案 追加調査データ反映 （表層物性） + 12/8 ヒア内容反映
⇒12/12 資料提出、12/13 ヒア
- ✓ 耐震建物 08 の修正
 - ・追加調査データ反映 （岩盤物性、岩盤減衰） 11/29、12/5 ヒアの反映未
⇒12/7 資料提出、12/12 ヒア
 - ・追加調査データ反映 （表層物性） 11/29、12/5 ヒアの反映一部未
⇒12/11 資料提出、12/12 ヒア
 - ・追加調査データ（岩石コア）反映 + 岩盤非線形へのデータ分析結果の反映
⇒「敷地地盤の特徴をとらえた地盤構造」まで完了した内容⇒1/18 資料提出、1/25 ヒア

● 基本地盤モデルの設定

- ✓ 追加調査結果の分析踏まえ、検討結果まとめ次第資料提出（1/18 提出の耐震建物 08 に反映）

● 入力地震動の策定（その後、設計用地震力（FRS 等）の設定・耐震計算）

- ✓ 策定した基本地盤モデルに基づき入力地震動を策定。検討まとめ次第資料提出（1/M以降）
以上

1. 設計条件及び評価判断基準

2. 具体的な設備等の設計

3. 具体的な設備等の設計と評価判断基準との照合

【2-1：システム設計、構造設計等】

- ・ 共通12の目的、共通12における具体的な設備等の設計に係る全体像等
- ・ MOX説明グループ1を例とした共通12各資料での記載事項の整理
- ・ 設計説明分類・説明グループの設定、要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分け、DB/SAの共通事項の整理等（溢水、竜巻等）

※3/5頁参照

共通12（資料1～3）、個別補足説明資料

※2/5頁参照

【2-2：解析・評価等】

- ・ 資料4における説明ロジックの整理（（設工認 計算（評価）方針、計算書（評価書）との紐づけ等）
- ・ MOX説明グループ1を例とした共通12での記載事項の整理

【3-2：評価判断基準等との照合】

申請書不備に係る原因、対策

(2-2) 共通12（資料4）、計算（評価）方針等
(3-2) 計算書（評価書）、個別補足説明資料

※計算結果を反映

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

申請書への反映

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

入力地震動の策定

- ・ 地震観測記録による減衰定数の検討
- ・ 表層物性に係る検討
- ・ 追加データ調査の結果を踏まえた検討
- ・ 基本地盤モデルの設定
- ・ 入力地震動の策定

設計用地震力（FRS等）、耐震計算

- ・ 入力地震動の設定結果を踏まえた設計用地震力（FRS等）の評価
- ・ 設計用地震力に基づく建屋、機器等の耐震計算等の実施

共通 1 2 関連として説明する事項及びその関係性

(2/5)

設計説明分類、説明グループ、主条文、関連条文の整理、合わせて評価等を行う項目に係る設計基準と重大事故で共通する構造設計等の整理（共通 1 2 資料 2 での条文間の関係性）
再処理説明グループ 1 の対象条文に対しても上記整理を実施

共通 1 2（本文、全体の整理方針）

共通 1 2（説明グループ 1 構造設計等（2-1））

- ・共通12の目的、共通12で整理する事項の全体像等の整理、作成方針（ガイド）の整備（対応方針1.1①、②）
- ・設計説明分類・説明グループの設定、構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理、DB/SAの類似となる設計方針の整理等（対応方針1.1③、④、⑤）
- ・説明グループ 1 に係る説明（関連する個別補足説明資料を含む）

ヒアリング予定等：9/15（共通12本文等）、10/5（共通12本文等）、10/24,11/8,11/17（ガイド）、10/26,10/27,11/9,11/10,12/11（説明グループ1）

共通 1 2（説明グループ 2 構造設計等（2-1））

共通 1 2（本文、全体の整理方針）

- ・資料 4 に係る記載方針等の整理（対応方針1.1⑥）

ヒアリング予定等：9/29、10/6、10/20、10/27（今後の進め方ヒア）、11/15,11/22,12/1（今後の進め方ヒア）、12/11（説明グループ1 資料4）～

共通 1 2（説明グループ 1 解析・評価等（2-2））

溢水、化学薬品の漏えいに係る設計方針の整理

- ・基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理（資料 2、3、4 関連）
 - 評価対象の選定、止水板・蓋の設計の考え方等の整理
- ・合わせて設計、評価等を示す項目に係る設計基準と重大事故で共通する構造設計等の整理（資料 2 関連）

ヒアリング予定等：9/14（対応方針）、9/22（対応方針）、10/5（構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理等）、10/25、11/8、11/30,12/20（DBの設計項目の整理）

共通 1 2 の説明（設計説明分類：内的事象 溢水対策設備、防護対象設備等）

（資料 3 での構造設計等に個別補足説明資料を含む）

- ・重大事故等に係る健全性説明書、個別施設説明書での記載事項の整理
- ・設計基準と併せて評価等を行う項目に係る健全性説明書、子添付で重大事故として示す設計方針の整理

竜巻防護対策設備等に係る設計方針の整理

- ・基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理（資料 2、3、4 関連）
- ・合わせて設計、評価等を示す項目に係る設計基準と重大事故で共通する構造設計等の整理（資料 2 関連）
- ・開口等の竜巻防護に関連する設備の構造概要等

ヒアリング予定等：9/11（対応方針）、9/22、10/5（基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理等）、10/25、11/8、11/17、11/30,12/21,1/12（DBの設計項目の整理）

共通 1 2 の説明（設計説明分類：外的事象 対策設備、防護対象設備等）

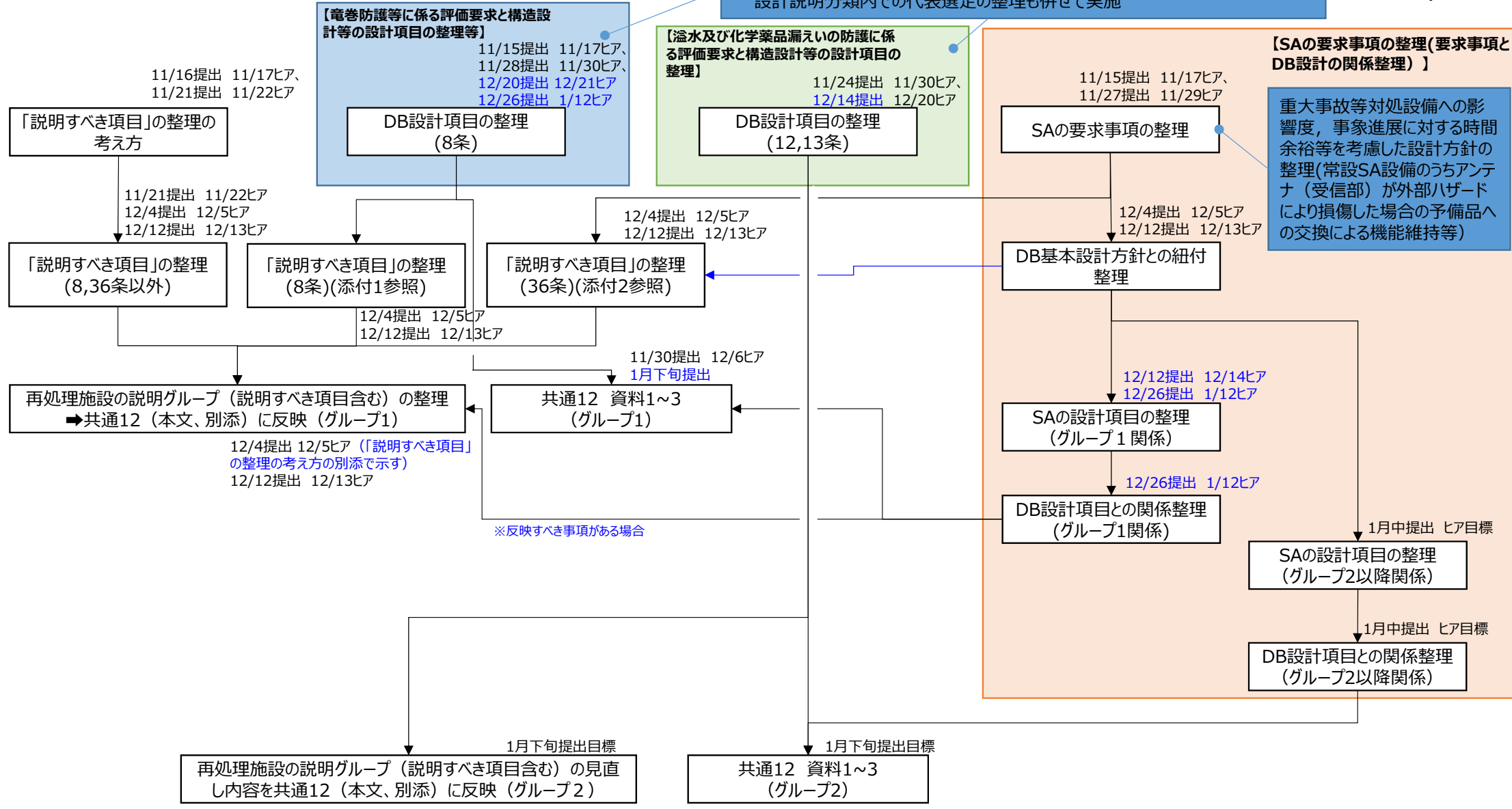
（竜巻、火山、その他等の外部衝撃等に係る資料 3 での構造設計等に関連する個別補足説明資料を含む）

ヒアリング予定等：12/6

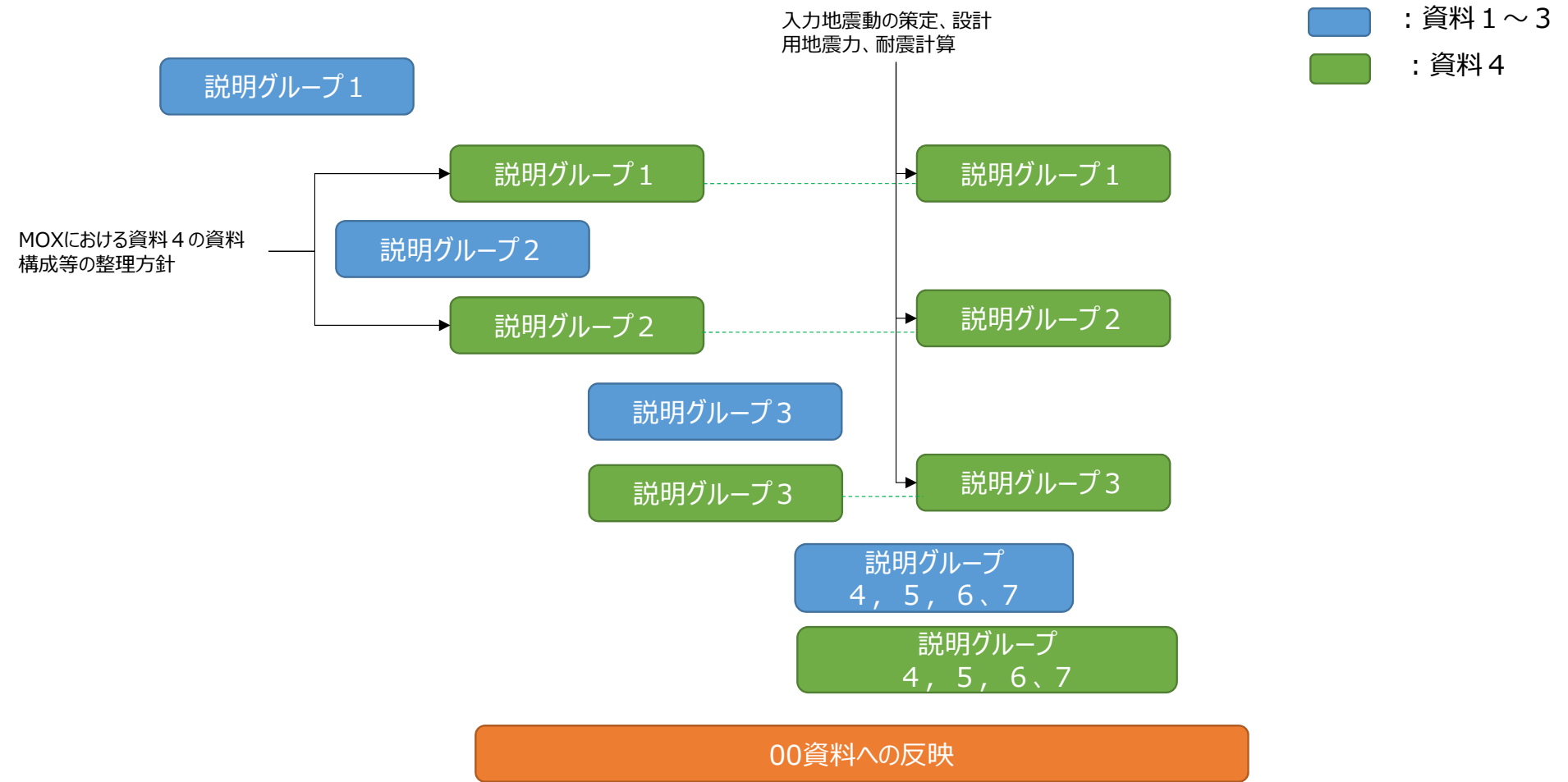
※ 3/5 頁参照

※ 3/5 頁参照

・ 構造設計等での具体的な設計情報の示し方の整理、複数の設計説明分類間、設計説明分類内での代表選定の整理も併せて実施

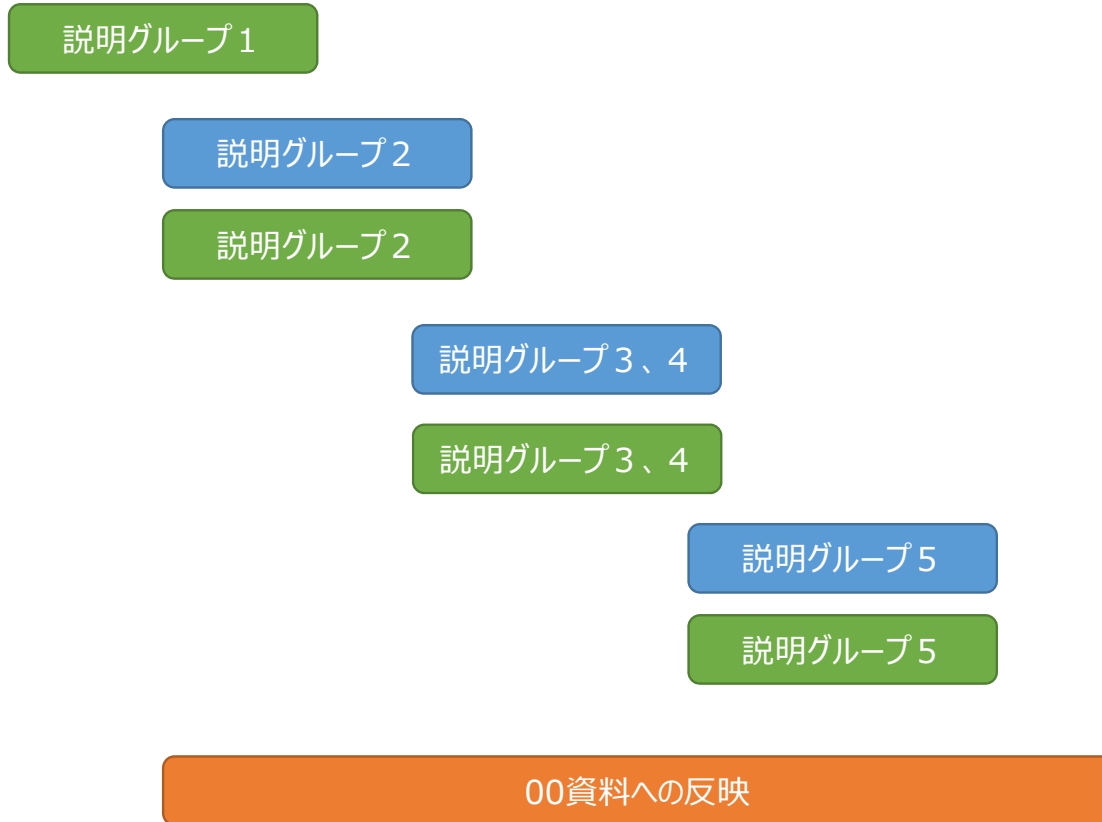


再処理施設 共通 1 2 の進め方



MOX 共通 1 2 の進め方

- : 資料 1 ~ 3
- : 資料 4



個別項目		論点	DB/SA	構造設計等 (資料 3 関連)		解析・評価 (資料 4 関連)	
別紙	項目			内容	提出時期	内容	提出時期
1-1	溢水防護対象設備の選定	・そもそも溢水防護対象設備の母集団を取り間違っていた事が問題であり、評価すべき溢水防護対象設備が漏れた原因と対策を整理して、評価対象方針を示す。 ・その際、事業許可や第 1 回申請の対応を整理した上で、申請対象設備リストの関係も整理する。	DB	①申請対象設備リストと溢水防護対象設備の関係を整理し、母集団を示す。 ②評価すべき溢水防護対象設備が漏れていた原因と対策を説明する。 ③ ①～②を踏まえ、溢水防護対象設備のうち、安全機能を損なうおそれのある設備の構造を示した上で、評価すべき溢水防護対象設備の選定の考え方を示す。	①～③ 12/14	③資料 3 で示した安全機能を損なう溢水防護対象設備を評価対象とする。※ ※溢水防護対象設備の選定結果は共通12の資料 1 で示し、評価	共通12 グループ2 資料 1～3 資料提出時
			SA	①DBと同様に「SA設備のうち、SAの対処に必要な機能を損なうおそれのある設備」および「起因に対し発生防止を期待する設備」の構造を示した上で、評価すべき溢水防護対象設備の選定の考え方を示す。なお、アクセス・操作性についても考慮する。	共通12 グループ2 資料 1～3 資料提出時	①DBと同様に資料 3 で示したSAの対処に必要な機能を損なうSA設備および起因に対し発生防止を期待する設備を評価対象とする。	共通12 グループ2 資料 1～3 資料提出時
1-2	屋外溢水源の整理	・屋外溢水源として何を設定しているか、評価に考慮すべき溢水源が何かを申請書等で記載できていないため、お示しする。 ・また、耐震性のある冷却塔なども含め、溢水源として設定するなど、溢水源の考え方が整理できていなかったため、整理して示す。	DB	①再処理事業所内にある溢水源を抽出し、配置情報を示す。 ②溢水量から除外する溢水源と、その考え方（防護対象設備・建屋との距離、設置高さ、耐震・強度）を示す。 ③局所評価が必要な溢水源と防護対象設備・建屋の位置関係を示す事で対象選定の考え方を示す。	①～③ 12/14	①②資料 3 で示した溢水量として考慮する屋外溢水源も踏まえ、広域評価を示す。 ③資料 3 で示した溢水源と防護対象設備・建屋との位置関係を踏まえ、局所評価の評価方法を示す。	共通12 資料 4 資料提出時
			SA	①DBと同様に再処理事業所内にある溢水源を抽出し、配置情報を示す。 ②1.0SS→1.2SSを考慮した上で、溢水量から除外する溢水源と、その考え方（防護対象設備・建屋との距離、設置高さ、耐震・強度）を示す。 ③DBと同様に局所評価が必要な溢水源とSA設備との位置関係を示す事で対象選定の考え方を示す。	共通12 グループ2 資料 1～3 資料提出時	①②DBと同様に資料 3 で示した溢水量として考慮する屋外溢水源も踏まえ、広域評価を示す。 ③DBと同様に資料 3 で示した溢水源とSA設備との位置関係を踏まえ、局所評価の評価方法を示す。	共通12 グループ2 資料 4 資料提出時
1-3	燃料貯蔵プール・ピット等の許可整合	・燃料貯蔵プール・ピットのスロッシング及び冷却機能維持に係る説明が許可と整合しているのが不明確であるため、許可時から変更点を説明する。 ・止水板と蓋の設計の考え方を示す。	DB	①止水板及び蓋は、保守点検やSGの干渉を考慮して、作業時に取外しが発生しない箇所に設置することを配置設計で示す。 ②燃料貯蔵プールの冷却・遮蔽機能維持の評価に必要な燃料貯蔵プール・ピットの構造を示す。	①～③ 12/14	①資料 3 で示した燃料貯蔵プール・ピット等の構造を踏まえ、スロッシング評価の解析条件（止水板と蓋の考慮、三次元流動解析）の考え方を示す。 ②スロッシング評価結果と燃料貯蔵プールの冷却・遮蔽機能維持に必要な水位を示す。	① 12/14 ②スロッシング評価完了時の1/E
			SA 36条	①DBと同様に止水板及び蓋は、保守点検やSGの干渉を考慮して、作業時に取外しが発生しない箇所に設置することを配置設計で示す。 ②燃料貯蔵プールの冷却・遮蔽機能維持の評価に必要な燃料貯蔵プール・ピットの構造を示す。	①～③ 12/14	①DBと同様に資料 3 で示した燃料貯蔵プール・ピット等の構造を踏まえ、スロッシング評価の解析条件（止水板と蓋の考慮、三次元流動解析）の考え方を示す。 ②DBと同様にスロッシング評価結果と燃料貯蔵プールの冷却・遮蔽機能維持に必要な水位を示す。	① 12/14 ②スロッシング評価完了時の1/E
			SA 42条	②燃料貯蔵プールの冷却・遮蔽機能維持の評価に必要な燃料貯蔵プール・ピットの構造を示す。	①～③ 12/14	①資料 3 で示した燃料貯蔵プール・ピット等の構造を踏まえ、スロッシング評価の解析条件（止水板のみ考慮、三次元流動解析）の考え方を許可整合を踏まえ、示す。 ②SA初期条件（初期水位-0.8m）の前提となるスロッシング評価を示す。	① 12/14 ②スロッシング評価完了時の2/M
1-4	溢水の漏えい検知・隔離設備の設計	・漏えい検知、隔離の設計方針を示せていない。	DB	①漏えい検知器の動作及びタンク・ピットの液位計上昇により、漏えい検知ができる設計を示すとともに、漏えい検知器及び液位計を溢水源の近傍の漏えい液受皿又は溢水経路下流のタンクピット等に配置する設計を示す。 ②中央制御室等からの手動遠隔操作又は操作場所へアクセスし、現場操作により漏えい箇所の隔離ができる設計を示す。現場操作により漏えい箇所の隔離する際、アクセス通路部の設定を配置で示す。	①～② 12/14	①② 漏えい検知器及び液位計によって溢水を検知し、中央制御室等からの手動遠隔操作又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できることを評価する。	共通12 グループ2 資料 4 資料提出時
			SA	①DBと同様に漏えい検知器の動作及びタンク・ピットの液位計上昇により、漏えい検知ができる設計を示すとともに、漏えい検知器及び液位計を溢水源の近傍の漏えい液受皿又は溢水経路下流のタンクピット等に配置する設計を示す。 ②DBと同様に中央制御室等からの手動遠隔操作又は操作場所へアクセスし、現場操作により漏えい箇所の隔離ができる設計を示す。現場操作により漏えい箇所の隔離する際、アクセス通路部の設定を配置で示す。	共通12 グループ2 資料 1～3 資料提出時	①② DBと同様に漏えい検知器及び液位計によって溢水を検知し、中央制御室等からの手動遠隔操作又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できることを評価する。	共通12 グループ2 資料 4 資料提出時

設工認等週間スケジュール

■：耐震 ■：共通・DB・S A ■：濃縮 ■：その他の面談/ヒアリング ■：審査会合関係

		12月				
月日	4	5	6	7	8	
	月	火	水	木	金	
AM	10:00~ (濃) 設工認に係る面談 ・設工認の基本設計方針に関する記載構成について		10:00~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12 (再処理説明グループ1) 資料1~3	10:00~ 設計プロセスの運用改善状況に関する面談 ・設計プロセスの各段階における事業部間の差異の状況、事業変更許可申請書記載事項の整理等	10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方、 溢水/化学薬品漏えいの個別説明資料の整理方針等) 上記ヒアリング終了後 (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・審査会合資料 (案)	
PM		13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・SAの要求事項の整理 (DB基本設計方針との紐付) ・再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理の考え方 (考え方に基づいた整理結果 (全条文)) (共通12 (再処理説明グループ1) 別添1含む) 16:00~ (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング ・入力地震動の策定 次回会合説明の骨子案			14:15~ (濃) 設工認に係る面談 ・設工認の基本設計方針に関する記載構成について	
資料提出予定	・SAの要求事項の整理 (DB基本設計方針との紐付) ・再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理の考え方 (考え方に基づいた整理結果 (全条文)) (共通12 (再処理説明グループ1) 別添1含む)	・入力地震動の策定 次回会合説明の骨子案 (15:00提出)		・今後の進め方 (全体の進め方、 溢水/化学薬品漏えいの個別説明資料の整理方針等) ・審査会合資料 (案) ・共通12本文、参考資料 (資料4含む) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料1~3 修正案 (審査会合を踏まえた修正) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料4 ・共通12 (MOX 説明グループ1) に係る個別補足説明資料 (閉込02、安有09) ・耐震建物08修正案 (岩盤減衰 S波検層追加調査結果追記版) ・設工認の基本設計方針に関する記載構成について		
		12月				
月日	11	12	13	14	15	
	月	火	水	木	金	
AM		10:00~ (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング ・耐震建物08修正案 (7日提出版に表層地盤物性等追加調査結果追記版)	10:00~ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・審査会合資料 (案)		10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)	
PM	13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 (資料4含む) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料1~3 修正案 (審査会合を踏まえた修正) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料4 ・共通12 (MOX 説明グループ1) に係る個別補足説明資料 (閉込02、安有09)		15:00~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・SAの要求事項の整理 (DB基本設計方針との紐付整理) ・再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理の考え方 (考え方に基づいた整理結果 (全条文)) (共通12 (再処理説明グループ1) 別添1含む)	13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・SAの要求事項の整理 (SAの設計項目の整理 (グループ1関係))		
資料提出予定	・耐震建物08修正案 (7日提出版に表層地盤物性等追加調査結果追記版)	・審査会合資料 (案) (AM) ・SAの要求事項の整理 (DB基本設計方針との紐付整理、 SAの設計項目の整理 (グループ1関係)) ・再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に係る整理の考え方 (考え方に基づいた整理結果 (全条文)) (共通12 (再処理説明グループ1) 別添1含む)		・今後の進め方 (全体の進め方等) ・ DBの設計項目の整理 (溢水・化学薬品)	・審査会合資料 (AM) ・共通12本文、参考資料 (資料4含む) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料4 ※審査会合資料の別添となる共通12本文、参考資料、資料4を提出	
		12月				
月日	18	19	20	21	22	
	月	火	水	木	金	
AM	審査会合希望			10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等) ・ DBの設計項目の整理 (電巻)		
PM			13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・DBの設計項目の整理 (溢水・化学薬品)	13:30~15:00 3Sに関する面談 ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方		
資料提出予定			・今後の進め方 (全体の進め方等) ・ DBの設計項目の整理 (電巻) ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方	・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料4		

		12月				
月日	25	26	27	28	29	
	月	火	水	木	金	
AM		10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)				
PM		13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料4				
資料提出予定	・今後の進め方 (全体の進め方等)	・DBの設計項目の整理 (竜巻、説明グループ1に関連する竜巻以外の事象) ・SAの要求事項の整理 (SAの設計項目の整理 (グループ1関係)、DB設計項目との関係整理 (グループ1関係))				
		1月				
月日	1	2	3	4	5	
	月	火	水	木	金	
AM						
PM						
資料提出予定						
		1月				
月日	8	9	10	11	12	
	月	火	水	木	金	
AM	成人の日				10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)	
PM					13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・DBの設計項目の整理 (竜巻、説明グループ1に関連する竜巻以外の事象) ・SAの要求事項の整理 (SAの設計項目の整理 (グループ1関係)、DB設計項目との関係整理 (グループ1関係))	
資料提出予定				・今後の進め方 (全体の進め方等) ・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ2) 資料1~4		